

# JR連合 政策News

第228号

2012年9月10日

## 中長期政策課題プロジェクト発足！

JR連合国会議員懇談会、鉄道局長、JR各社経営幹部など  
多方面から多数の来賓が参加！

JR連合は、9月5日、東京都内で「JRに関わる中長期政策課題プロジェクトチーム発足会議並びに発足式」を盛大に開催した。このプロジェクト（以下、PT）は、JRが発足して25年、JR連合結成20年の節目を迎え、中長期的視点に立った政策立案が必要であるとの認識の下、結成した。

発足会議並びに発足式には、JR連合国会議員懇談会松野頼久会長（衆）、榛葉賀津也副会長（参）、伴野豊副会長（衆）、三日月大造事務局長（衆）、小川淳也事務局次長（衆）、中野寛成顧問（衆）、高木義明顧問（衆）など10名の国会議員と秘書5名、国土交通省久保鉄道局長、JR各社経営幹部、JR連合、JR単組代表者ら計70名が参加した。また本PTアドバイザーの専修大学太田教授、神戸大学正司教授、東京女子大学竹内教授にも参加頂いた。

発足会議の冒頭、JR連合を代表して坪井会長は、「鉄道が持続可能な発展を遂げるためにJR連合を基軸する政策立案の構築が重要である。そのために、①三島・貨物経営安定化②貨物鉄道モーダルシフト③鉄道特性活性化の3PTを設定することとした。国交省、JR各社、地方自治体等との連携を強化しながら、中長期的視点に立って産業政策を推進していく」と決意を述べた。

松野会長は、「JRが発足して25年経過した中、三島・貨物問題をはじめ残された課題も多い。本PTで鉄道特性を発揮しながら持続可能な発展を遂げられるよう、将来にむけての前向きな提言がされることを期待する」と述べた。

その後、PTごとに分科会を開催し、座長にJR連合国会議員懇談会役員、アドバイザーに上記の大学教授に就任していただき、JR連合及び単組代表者が構成員として参画しながら、1～3年の期間でそれぞれ答申書をまとめることを確認した。



引き続き開催された発足式では、JR連合国会議員懇談会役員から鉄道特性を発揮できるような政策立案を期待する声が寄せられた他、JR各社経営幹部からは、中長期的視点に立った本P Tへの期待の数が多数寄せられるなど、改めてJRの代表産別であるJR連合の政策実現力への期待度の高さが明らかになった。

今後JR連合は、JRの代表産別の視点から、JRの中長期的な政策課題の解決にむけてJR連合国会議員懇談会をはじめ、政府や地方自治体などと連携を取りながら精力的に取り組んでいく。



国会議員懇談会・松野会長



国会議員懇談会・伴野副会長



国会議員懇談会・榛葉副会長



国会議員懇談会・三日月事務局長



国会議員懇談会・小川事務局長



国会議員懇談会・高木顧問



吉田国土交通副大臣



岩本農林水産副大臣



国土交通省・久保鉄道局長



JR四国・泉社長